

bangarra  
DANCE THEATRE

# Bangarra Dance Theatre

バンガラ・ダンス・シアター

『Spirit 2018』『I.B.I.S』

彩の国さいたま芸術劇場  
Saitama Arts Theater

編集・発行：公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団  
〒338-8506 埼玉県さいたま市中央区上峰 3-15-1 Tel.048-858-5500  
デザイン：Azone+Associates  
印刷：アベ印刷  
発行日：2018年11月9日  
禁無断転載：©公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団

Edited and Published by Saitama Arts Foundation  
3-15-1 Uemine, Chuo-ku, Saitama-shi, Saitama-ken 338-8506  
Tel.048-858-5500  
Design: Azone+Associates  
Printing: Abe Printing  
Published on 9 November, 2018  
All rights are reserved by Saitama Arts Foundation

バンガラ・ダンス・シアター

## Bangarra Dance Theatre 『Spirit 2018』『I.B.I.S』

2018.11.9(金)19:00 / 10(土)15:00

Fri 9 November, 19:00 / Sat 10 November, 15:00

彩の国さいたま芸術劇場 大ホール

Saitama Arts Theater, Main Theater

主催：彩の国さいたま芸術劇場

(公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団)

助成：オーストラリア政府、豪日交流基金、  
オーストラリア now スポンサー

Produced by Saitama Arts Theater (Saitama Arts Foundation)  
Funded by the Australian Government,  
the Australia-Japan Foundation and Australia now Sponsors



オーストラリア now スポンサー  
Australia now Sponsors



CREATIVE VICTORIA



バンガラ・ダンス・シアターの公演に寄せて  
Message from the Australian Ambassador

この度の彩の国さいたま芸術劇場による、バンガラ・ダンス・シアター公演の開催を心よりご祝福申し上げます。

今回が4度目の日本公演となるバンガラ・ダンス・シアターは、オーストラリア先住民による伝統的な舞踊とコンテンポラリー・ダンスの融合を目指し、1989年に設立されました。以来29年間にわたり、国内外で毎年舞台活動を行うと共に、先住民文化継承のための教育プログラムを実施している異色の存在です。

オーストラリア政府は今年、日本の皆様にわが国の伝統的な部分と、革新的な側面を同時に知ってもらうため、文化やライフスタイルなど、様々な分野にまたがるプログラム「オーストラリア now」を開催しました。今回のバンガラ・ダンス・シアター公演は、この8か月間に及んだ長期イベントのエンディングを飾るものです。オーストラリアの歴史的要素と前衛的要素を併せ持ち、独自の魅力を称えるバンガラの舞台ほど、こうした締めくりにふさわしい作品はありません。

今回の公演を通じて、ご来場くださった皆様に、オーストラリアという国の文化や成り立ちに少しでも興味を持っていただけたとしたら、大使としてこれに勝る喜びはありません。

駐日オーストラリア大使  
リチャード・コート  
H.E. Mr Richard Court AC  
Australian Ambassador to Japan

## 主催者よりご挨拶

Greetings from Saitama Arts Theater (Saitama Arts Foundation)

本日は、バンガラ・ダンス・シアター『Spirit 2018』  
『I.B.I.S』公演にご来場いただき、誠にありがとうございます。

アボリジナル、そしてトレス海峡諸島民の物語を語り  
継ぐオーストラリア屈指のダンスカンパニーとして、  
世界的に高い評価を受けているバンガラ・ダンス・  
シアター。先住民族の儀式や風習を単に再現してみ  
せるにとどまらず、彼らが現代社会と折り合いをつ  
け共存している姿を、物語を通して表現する独自の  
手法をとっています。それが故に、バンガラ・ダンス・  
シアターは現代の多様性を極める文化において、  
圧倒的な存在感を放っています。

オーストラリアのイノベーション、ライフスタイル、そして  
文化・芸術を紹介するプログラム、「オーストラリア

now 2018」の一環で、4度目の来日が実現した  
今回は、カンパニーのレパトリーの中から、代表  
作の『Spirit 2018』、そして『I.B.I.S』を披露します。  
オーストラリア先住民族の歴史が紡ぎ出す迫力の  
スペクタクルと崇高な物語、そしてダイナミックな  
ダンスをどうぞお楽しみください。

本公演の実現にあたり、ご支援、ご協力をいただき  
ました関係者の皆様に心からお礼を申し上げ、ご挨拶  
とさせていただきます。

公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団  
理事長 **竹内文則**  
Fuminori Takeuchi  
President, Saitama Arts Foundation

## バンガラ・ダンス・シアターよりご挨拶

Greetings from Bangarra Dance Theatre

バンガラ・ダンス・シアター海外ツアー公演にご来場  
いただき、ありがとうございます。

2019年のカンパニー設立30周年を前にしてふた  
たび日本を訪れ、私たちの過去、現在、希望に満ち  
た未来を反映したプログラムを上演できるのは望外  
の喜びです。本ツアーはバンガラ・ダンス・シアター  
の4度目の来日となりますが、力強い文化の祝典と  
して、最上のレパトリーを披露出来ることを嬉しく  
思います。

バンガラ・ダンス・シアターは物語の語り手として  
国内外で活動しています。私たちの作品は、赤く  
埃立つ砂漠から、広大な国中を流れる淡水・塩水  
の地帯まで、オーストラリアの多様な土地をその源  
(みなもと)としています。また、オーストラリアの  
最も象徴的な場所であるシドニー・オペラハウス  
を拠点とする、唯一の先住民パフォーマンスアーツ  
カンパニーです。

今回で私たちの海外ツアーは26回目となり、カンパ  
ニーの設立以来、約70の国々を訪れました。パリか  
らニューヨークまで観客を魅了する私たちの独特な  
現代的表現は、伝統的な踊りと歌を新しい身体言語  
にスムーズに溶け合わせたものです。オーストラ  
リアの文化を伝える役割を持つ海外公演では、太古か  
ら受け継がれてきた聖なるソングラインに光を照らし、  
現代の文化と継承されてきた遺産の交流を推し  
進めています。

今回の日本公演は、現代の先住民が生きるオース  
トラリアの物語や表現を、皆様に紹介するこの上ない  
機会です。

バンガラ・ダンス・シアターの29年間の歴史から  
紡がれた『Spirit 2018』は、物語の語りとダンスと

音楽を、インスピレーション豊かな演劇的体験へと  
織り上げます。大地が形作られる活力、女性たちが  
食物を狩り集める大地の恵み、そして知識を伝授し  
ていく儀礼を巡っていきます。アボリジナルとトレス  
海峡諸島民文化のしなやかさを称える作品であり、  
「カントリー」との繋がりに由来する多様性とイン  
スピレーションへの尊重が描かれます。

『I.B.I.S』は、トレス海峡諸島の人々と土地、そして  
その未来を祝福するものです。伝統的な物語が現代  
にいかにも共鳴するの追求するとともに、気候変動  
や立ち退きの問題に直面しながらも、力強く陽気  
に暮らそうとするトレス海峡諸島の人々とその文化  
を描いています。

「オーストラリア now」のプログラムの中で、文化を  
伝えるアンバサダーの役割を果たせることを、とて  
も誇りに思います。また、このツアーの実現に欠か  
せなかった、オーストラリア政府外務貿易省と通信  
芸術省を通じたサポート、そして「オーストラリア  
now」のスポンサーの方々に感謝申し上げます。

バンガラ・ダンス・シアターの土台はかつてなく  
盤石であり、私たちのダンス・アンサンブルは、しな  
やかで誇り高く、大地と繋がります。どうぞ本日  
のパフォーマンスをお楽しみください。

バンガラ・ダンス・シアター 芸術監督  
**スティーヴン・ページ**  
Stephen Page  
Artistic Director, Bangarra Dance Theatre

バンガラ・ダンス・シアター  
エグゼクティブ・ディレクター  
**フィリップ・マジッド**  
Philippe Magid  
Executive Director, Bangarra Dance Theatre





# About Bangarra Dance Theatre

## バンガラ・ダンス・シアター

バンガラ・ダンス・シアターは、オーストラリアを代表するアボリジナル・トレス海峡諸島民によるダンスカンパニーです。力強い踊り、特徴的な声、独自の音世界、音楽、デザインを用いたパフォーマンスは、国内外で高い評価を得ています。

スティーヴン・ページ芸術監督が率いるバンガラ・ダンス・シアターは、設立から29年目を迎えます。6万5千年以上も続く先住民文化に、コンテンポラリー・ダンスの動きを融合させた独自のダンス技法で知られる集団です。所属するダンサーたちは、オーストラリア・ダンス界の頂点に立つダイナミックな存在であり、育った場所は異なるものの、いずれもアボリジナル、トレス海峡諸島民として強い誇りを持っています。

バンガラ・ダンス・シアターが最も重視するのが、アボリジナル、およびトレス海峡諸島民社会との関係です。彼らのレパトリー作品は、長老たちから集めた語りを土台とし、“自らの土地(カントリー)”で生み出されました。こうした土地や地域社会との固有のつながりによって、バンガラの舞台は独自性を獲得しており、オーストラリアの人里離れた地から、東京やニューヨーク、パリに至るまで、多くの観客を魅了しています。

バンガラ・ダンス・シアターは、新作を国内の中心部で披露する全国ツアーや、州都以外の観客に舞台を体験してもらうための地方ツアー、世界的な評価を維持するための海外ツアーなど、毎年様々な内容を誇るプログラムを用意しています。

またこうしたツアー公演とあわせて、次世代のダンサーや語り手の育成にも力を入れており、教育プログラム、ワークショップ、特別公演やプロジェクトを実施しています。先住民による実際の語りや優れた技法、心を揺さぶるパフォーマンスこそ、バンガラ・ダンス・シアターの特色といえます。



©Leo Borrie



© Jimmy Boy Boya



©Jeff Busby



©Jeff Tan

## 『Spirit 2018』

『Spirit 2018』はスティーヴン・ページがバンガラ・ダンス・シアター設立以来のレパートリーの中から傑出したダンス・ストーリーを集めたパワフルな作品です。

デビッド・ページとスティーブン・フランシスが作曲した美しく、心に響く音楽と共に、『Spirit 2018』は、神聖なる自然の詩を奏でる、神秘的な秘密の空間へと誘います。オーストラリア各地の物語や歌による伝承を題材として、ディンゴの魂や、蛾のはかない一生、先住民の人々の土地との強いつながりを称える作品となっています。

本作は度々改定されて上演され、コペンハーゲンやボン(ドイツ)、ニューヨーク、ベトナム、モンゴル、中国で観客と批評家から絶賛を浴びました。傑出したダンス技術と融合した、オーストラリアの豊かな文化や歴史を強く称えた作品といえます。

## 『I.B.I.S』

『I.B.I.S』はトレス海峡にあるマレー島を舞台にした、喜びに満ちた作品です。人々の笑いや明るい笑顔が絶えない、孤立した美しい島に暮らす人々が、立ち退きや気候変動といった問題に遭遇しつつも、自分たちの文化を大切に、陽気に生きる姿を描きます。

本作は、2015年に当時ベテラン・ダンサーとして活躍していたデボラ・ブラウンとワアンゲンガ・ブランコにより創作されました。

タイトルの『I.B.I.S』は諸島産業サービス委員会(Island Board of Industry and Services)といわれる、島に点在する地元の商店を指す呼び名。デボラ・ブラウンとワアンゲンガ・ブランコは、現代の狩猟採集民族のような人々に賑わう架空のI.B.I.Sを、作品の舞台に設定しました。この小さな商店が、トレス海峡の人々の献身や努力により進化・成長を遂げ、今日のような大きな組織になるまでが描かれます。



©Edward Mulvihill



©Greg Barrett



©Greg Barrett

バンガラ・ダンス・シアター 芸術監督

## Stephen Page スティーヴン・ページ

Artistic Director, Bangarra Dance Theatre



©Tiffany Parker

ヌスクル族、およびクイーンズランド州南東部に住むユガンベ氏族に属するムナルドジャー族の子孫にあたる。1991年にバンガラ・ダンス・シアターの芸術監督となり、以来、オーストラリア舞台芸術の金字塔となるような作品を次々と発表している。

ページは、先住民による語りに新しい息吹を吹き込む試みを、バンガラ・ダンス・シアターでの創作や2000年シドニー・オリンピック開・閉会式における先住民場面の演出、ゴールドコーストで開催された2018年英連邦競技大会(コモンウェルスゲームズ)開会式に新作のダンス作品を提供するなど、他のカンパニーとの共同製作により継続的に行っている。

2018年、ダニエル・ライリーとヨランド・ブラウンと共に、ブルース・パスコーによる著書『Dark Emu』を舞台化。この作品では、アボリジナルやトレス海峡諸島の人々が、自身を取り巻く環境と互いに繋がりを、恩恵を受けながら、この関係を持続的にかつ神聖なものとして捉えている様をダンスで表現している。

2017年、記念碑的作品となった『Bennelong』の振付・演出を手がけ、バンガラ・ダンス・シアターの歴史において最大の成功を収めた。同年、

オーストラリアの文化・芸術への多大な貢献を賞して、オーストラリア・カウンシル・ダンス賞を授与されると共に、オーストラリア勲章(AO)を受章。2016年には、NAIDOC特別功労賞とJC Williamson賞を受賞したほか、トリプル・ビル『OUR land people stories』の一部として、同カンパニーにおいて自身の23作目にあたる『Nyapanyapa』を上演した。

2015年には同カンパニーによる新しい伝承作品を企画・上演し、シドニー工科大学より創造芸術分野における名誉博士号を授与された。2014年には、カンパニーの設立25周年を記念し、『Patyegarang』の振付を手がけた。

また、映画『The Turning』(2013)では『砂』の章の演出を手がけたほか、2013年のシドニー・フェスティバルの一環として上演された、シドニー・シアター・カンパニーの『The Secret River』ではアーティストック・アソシエイトを務めた。このほかに、長編映画『Bran Nue Dae』(2009)や『ソウル・ガールズ』(2011)の振付を行っている。自身による初の長編映画『Spear』はトロント国際映画祭で上映された後、2016年には国内の様々なアート・フェスティバルで公開された。

バンガラ・ダンス・カンパニーのレパートリーは、作品創作に欠かせない土地や地域社会と繋がりを持つ、“自らの土地(カントリー)”に基づいています。

作品にインスピレーションを与えてくれる古老たちやコミュニティと共に時を過ごすことで、自分たちの芸術性とアイデンティティの意識を深めながら文化的な伝統との繋がりを保ち続けています。コミュニティから委ねられた物語から、作品創作のライフサイクルが始まり、専門家のサポートと助言を得てさらに発展していきます。

オーストラリアの最も優れた舞台人たちと共に、バンガラ・ダンス・シアターは独自のダンス言語を通して、彼らの知識と物語に、命を吹き込みます。

### 『 SPIRIT 2018 』

振付： スティーヴン・ページ、バーナデット・ワロン=セン  
先住民ダンス振付・音楽： ドゥジャカブラ・ムンヤリユン  
音楽： デビッド・ページ、スティーブ・フランシス  
衣装： ジェニファー・アーウィン  
照明： ニック・シュリーパー、カレン・ノリス、  
ジョセフ・マーキュリオ、マット・コックス

Choreography: Stephen Page, Bernadette Walong-Sene  
Traditional Choreography, Music: Djakapurra Munyarryun  
Music: David Page, Steve Francis  
Costumes: Jennifer Irwin  
Lighting Design: Nick Schlieper, Karen Norris,  
Joseph Mercurio, Matt Cox

### 『 I.B.I.S 』

振付： デボラ・ブラウン、ワアゲンガ・ブランコ  
音楽： スティーブ・フランシス  
衣装： ジェニファー・アーウィン  
照明： カレン・ノリス

Choreography: Deborah Brown, Waangenga Blanco  
Music: Steve Francis  
Costumes: Jennifer Irwin  
Lighting Design: Karen Norris

# Dancers ダンサー



**Elma Kris**

エルマ・クリス



**Deborah Brown**

デボラ・ブラウン



**Waangenga Blanco**

ワアゲンガ・ブランコ



**Rikki Mason**

リッキー・メイソン



**Yolanda Lowatta**

ヨランダ・ロワタ



**Rika Hamaguchi**

リカ・ハマグチ



**Tara Gower**

タラ・ガワー



**Daniel Riley**

ダニエル・ライリー



**Jasmin Sheppard**

ジャズミン・シェパード



**Glory Tuohy-Daniell**

グローリ・トゥイ=ダニエル



**Tyrel Dulvarie**

タイレル・ダルベリ



**Baden Hitchcock**

ベイデン・ヒッチコック



**Kaine Sultan-Babij**

ケイン・サルタン=バビジ



**Luke Currie-Richardson**

ルーク・カリー=リチャードソン



**Beau Dean Riley Smith**

ボウ・ディーン・ライリー・スミス



**Ryan Pearson**

ライアン・ピアソン



**Lillian Banks**

リリアン・バンクス



**Bradley Smith**

ブラッドリー・スミス

## SPIRIT 2018

### Hunting and Gathering

Elma Kris  
Tara Gower  
Jasmin Sheppard  
Yolanda Lowatta  
Rika Hamaguchi  
Glory Tuohy-Daniell  
Lillian Banks

### Black

Waangenga Blanco  
Daniel Riley  
Luke Currie-Richardson  
Beau Dean Riley Smith  
Rikki Mason  
Tyrel Dulvarie

### White

Tara Gower  
Jasmin Sheppard  
Yolanda Lowatta

### The Call

Daniel Riley  
Elma Kris

### Two Sisters

Tara Gower  
Jasmin Sheppard  
Yolanda Lowatta  
Rika Hamaguchi  
Glory Tuohy-Daniell  
Lillian Banks

## I.B.I.S

### Debe Idim – Good Morning Meriam Mer Language

Ni Ngoe Dhe Goiga – *You Are My Sunshine*  
Ka La Lagau Ya Language  
Elma Kris  
Waangenga Blanco

Gathering  
Full Company

### Top Song – Sardine Song Ka La Lagau Ya Language

Full Company

### Baskets

Elma Kris  
Deborah Brown  
Tara Gower  
Jasmin Sheppard  
Yolanda Lowatta  
Rika Hamaguchi  
Glory Tuohy-Daniell  
Lillian Banks

### Waru – Turtle Ka La Lagau Ya Language

### Turtle Egg

Waangenga Blanco  
Tara Gower  
Daniel Riley  
Jasmin Sheppard  
Kaine Sultan-Babij  
Luke Currie-Richardson  
Beau Dean Riley Smith  
Rikki Mason  
Yolanda Lowatta  
Rika Hamaguchi  
Tyrel Dulvarie  
Baden Hitchcock  
Ryan Pearson  
Bradley Smith

### Neck Tie

Kaine Sultan-Babij  
Luke Currie-Richardson  
Beau Dean Riley Smith  
Rikki Mason  
Tyrel Dulvarie  
Ryan Pearson

### Freezer

### Cool Down

Tara Gower  
Jasmin Sheppard  
Yolanda Lowatta  
Rika Hamaguchi  
Glory Tuohy-Daniell  
Lillian Banks

### Rising Water

Elma Kris

### Crayfish

Jasmin Sheppard  
Kaine Sultan-Babij  
Luke Currie-Richardson  
Rikki Mason  
Yolanda Lowatta  
Rika Hamaguchi  
Tyrel Dulvarie  
Glory Tuohy-Daniell  
Ryan Pearson  
Lillian Banks

### Debe Ki – Good Night Meriam Mer Language

Company Rice  
Full Company

### Lore

Elma Kris

### Ooura – Kir Kir Kiber Dance Meriam Mer Language

Full Company

## バンガラ・ダンス・シアター 日本ツアー

### [ 執行部 ]

芸術監督：ステイーヴン・ペイジ  
エグゼクティブ・ディレクター：フィリップ・マジッド  
エグゼクティブ・アドミニストレーター：ローラ・ハウ

### [ 芸術部 ]

デザイン・チーフ：ジェイコブ・ナッシュ  
リハーサル・ディレクター：ダニエル・ロバーツ

### [ 制作部 ]

技術・制作監督：ジョン・コルヴィン  
プロダクション・マネージャー：カスリン・スタッドリー  
カンパニー・マネージャー：クラウディア・エルダー  
舞台監督：リリアン・ハナ・ユ  
照明チーフ：クリストファー・ドネリー  
衣裳チーフ：モニカ・スミス  
音響・映像：エムジェイ・マッシュズ

 **Bangarra** バンガラ・ダンス・シアター パートナー Bangarra Dance Theatre Partners



公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団  
彩の国さいたま芸術劇場

理事長：竹内文則  
館長：木全義男  
事業部長：渡辺 弘  
プロデューサー：佐藤まいみ  
技術統括：岩品武顕  
照明：菅沼翔太  
音響：竹内和弥  
舞台：平井 徹  
制作統括：中田晃史  
制作：荻原文子、関下景子  
制作アシスタント：太田郁子  
広報：原口さわこ、西山裕子 (ダンスプレストウキョウ)  
営業宣伝：鶴貝典久、松井 哲  
票券：本郷充子、鈴木優子

舞台部：野寺 誠、中村兆成、堀田悠翔、  
齊藤 正、村井 裕、  
七感弥広彰、川前英典  
照明部：熊本 晶、小谷中直美、石井大輔  
音響部：鬼澤玲子、八七橋 岳

通訳：鈴木節子  
翻訳：佐和田敬司  
衣裳：坂本美和子  
映像記録：matronFILM

協力：株式会社バシフィックアートセンター、  
有限会社スペースラボ、有限会社フルスケール  
(50音順)

## Bangarra Dance Theatre Japan Tour

### [ EXECUTIVE ]

Artistic Director: Stephen Page  
Executive Director: Philippe Magid  
Executive Administrator: Laura Hough

### [ ARTISTIC ]

Head of Design: Jacob Nash  
Rehearsal Director: Daniel Roberts

### [ PRODUCTION ]

Director, Technical & Production: John Colvin  
Production Manager: Catherine Studley  
Company Manager: Claudia Elder  
Stage Manager: Lillian Hannah U  
Head Electrician: Christopher Donnelly  
Head of Wardrobe: Monica Smith  
Sound and AV Technician: Emjay Matthews

Saitama Arts Foundation  
Saitama Arts Theater

President: Fuminori Takeuchi  
General Director: Yoshio Kimata  
Executive Producer / Director, Production: Hiroshi Watanabe  
Producer: Maimi Sato  
Technical Director: Takeaki Iwashina  
Lighting: Shota Suganuma  
Sound: Kazuya Takeuchi  
Stage Manager: Toru Hirai  
Production Group Leader: Akifumi Nakada  
Production: Fumiko Ogiwara, Keiko Sekishita  
Production Assistant: Ikuo Ota  
Public Relations: Sawako Haraguchi, Yuko Nishiyama (dance press tokyo)  
Marketing: Norihisa Tsurugai, Satoshi Matsui  
Ticketing: Mitsuko Hongo, Yuko Suzuki

Stage Crew: Makoto Nodera, Yoshinari Nakamura, Yuto Hotta,  
Tadashi Saitou, Yutaka Murai,  
Kohshou Nanami, Hidenori Kawamae  
Lighting Crew: Akira Kumamoto, Naomi Koyanaka, Daisuke Ishii  
Sound Crew: Reiko Onizawa, Takashi Yanahashi

Interpreter: Setsuko Suzuki  
Translation: Keiji Sawada  
Wardrobe: Miwako Sakamoto  
Documentation for Film: matronFILM

In cooperation with: Full Scale Co. Ltd., Pacific Art Center Inc.  
Space Labo Inc.

(Alphabetical Order)